

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月20日			
平成15年度	事業コード		電話	042-769-8227
担当部課名	市民部	戸籍住民	課	住居表示 係
事務事業名	住居表示整備事業維持管理費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	63以前 年度
施策名	第 施策	

2 実施根拠及び関連法令等

住居表示に関する法律	相模原市住居表示に関する条例
------------	----------------

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1) 事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2) 対象(誰、何)
住居表示地域(町の区域)について新築建物の住居番号の設定及び街区表示板の更新等適正な維持管理を行う。	住居表示区域 5 0 2 3 ha
	対象数 284町(6531街区)
(3) 平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
<ul style="list-style-type: none"> 住居番号設定件数 2,500件 街区案内板撤去 16基 街区案内板設置 1基 街区表示板更新 505枚(408街区) 	
(4) 個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	住居番号設定率	設定数/設定申請数 2500件/2500件	住居番号を必要としている建物につき的確に住居番号を設定する。	100	100	100	100	100
	活動指標	設定のための現地調査 調査件数/調査必要件数 2500件/2500件	適正な住居番号設定をするため	100	100	100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	2,970	2,729	2,552	1,850	1,850
人員・時間数	3	3	3	3	3
人件費	25,170	25,170	25,170	25,170	25,170
その他経費	0	0	0	0	0
合計	28,140	27,899	27,722	27,020	27,020
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	280	280	284	293	293
対象の単位あたり経費	100.5	99.6	97.6	92.2	92.2

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	市民生活に支障が出ないよう、建物完成の1ヶ月前には設定している状況である。						
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・市民や社会のニーズにかなっている					
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/>	・状況の変化(対象や内容)に対応している					
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/>	・当初設定した事業目的が達成されていない					
		説明	<input type="checkbox"/>	・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある					
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/>	・上位の施策、計画目的達成のために有効である					
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/>	・期待された成果が得られている					
	C : 有効ではない		説明						
		説明	住居表示は分かりやすい住居の表示に有効である。						
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/>	・予算や人員に見合った効果が得られている					
	B : 一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/>	・他市と比べてコストや効率性が優れている					
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/>	・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている					
		説明	<input type="checkbox"/>	・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない					
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>	・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である					
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/>	・受益者の費用負担は適正である					
	C : 公平でない		<input type="checkbox"/>	・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)					
		説明							
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額						
<input checked="" type="checkbox"/> あり	説明: 住居番号の設定については、新築届に基づき 現地調査をし設定しているが、現地調査業務 を再検討する。	手段	住居番号の設定に係る現地調査を正規職員から嘱託職員 対応にする。						
<input type="checkbox"/> ない			削減額	6,090 千円					

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
		近隣他市に比較して、住居番号の設定件数が多い。	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明	
<input type="checkbox"/>	見直し	事業費削減のため一部業務に、正規職員に替えて嘱託職員を配置する。	
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済		

12 二次評価コメント